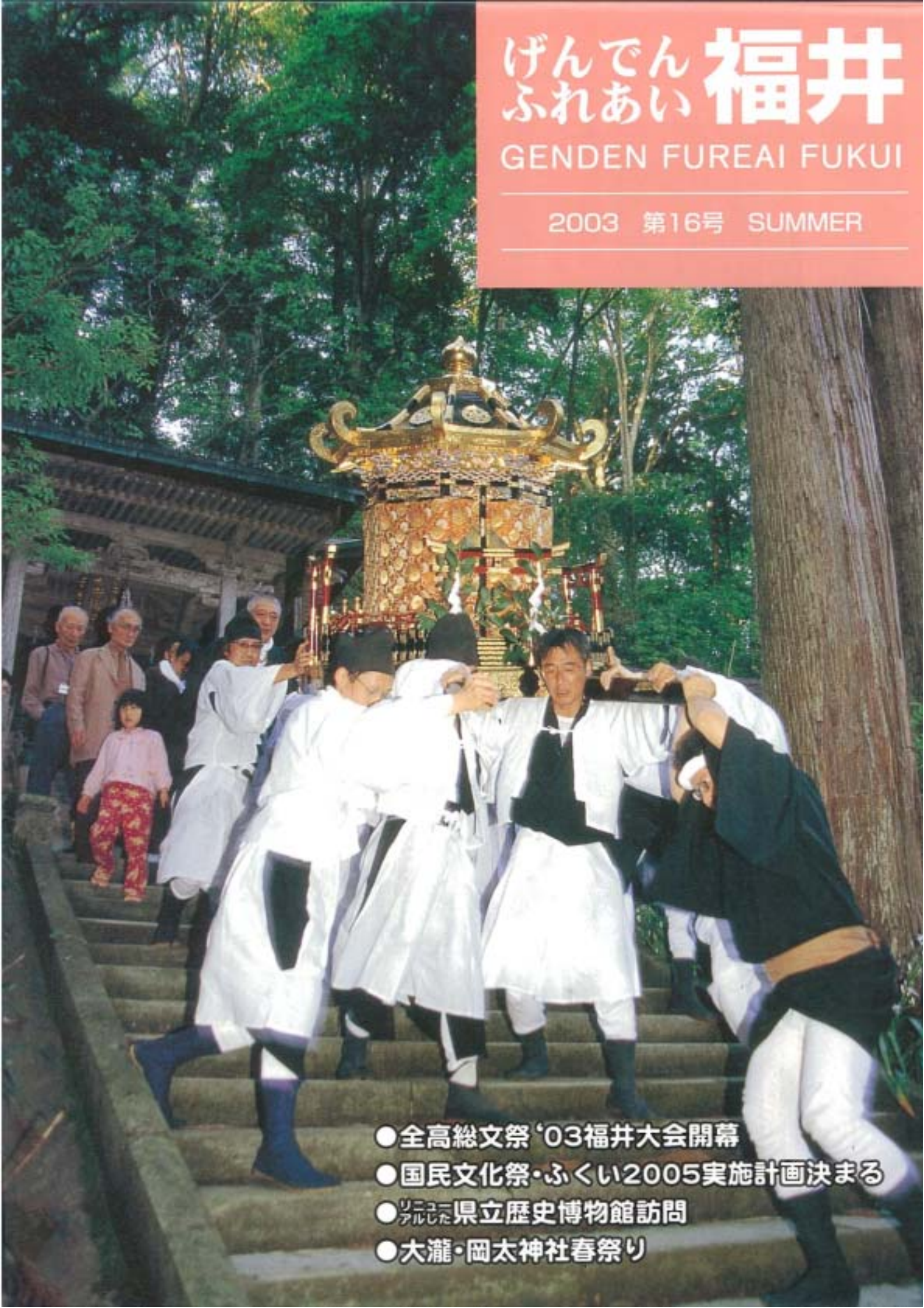


# げんでん 福井 ふれあい

GENDEN FUREAI FUKUI

2003 第16号 SUMMER



- 全高総文祭'03福井大会開幕
- 国民文化祭・ふくい2005実施計画決まる
- リアル コムニ 県立歴史博物館訪問
- 大瀧・岡太神社春祭り

- ・「全高総文祭'03福井」開幕  
全国から1万9千人集う P2・3
- ・第20回国民文化祭実施計画  
大綱決まる P4・5
- ・リニューアルした県立歴史  
博物館訪問(シリーズ12) P6・7
- ・平成14年度風花随筆文学賞  
財団賞作品紹介 P8・9
- ・シリーズ伝統芸能  
「大瀧・岡太神社の春祭り」 P10・11
- ・福井の文学碑(シリーズ7)  
橋本左内「尊皇録」石碑 P12
- ・敦賀市立博物館所蔵絵画誌上展11 P13
- ・情報ファイル P14・15

## 表紙の説明

福井県指定無形民俗文化財

大瀧神社、岡太神社の  
春祭り(神迎え—お下り)

(今立町)



大瀧神社、岡太神社の春祭り初日(5月3日)の夕方、権現山山頂の奥の院に鎮座されるご神体を神輿で里宮へお迎えするお下りの儀が行われます。

神輿をかつく人は白丁姿で、奥の院での「奉迎祭」のあと、ご神体をいつもおそばでお守りしていたお奉天狗が先払い、里宮よりお迎えの赤・青天狗の案内で里宮へお下りになります。(春祭りの詳細は10・11頁で特集しました。)

'03全高総文祭  
福井祭

全国から1万9千人集う

8/8  
〜  
12心の泉より湧き出る文化よ  
大河となり海を成せ

開幕の迫った「第27回全国高等学校総合文化祭福井大会」は、8月8日〜12日まで、県内7市1町で開催されます。サンルーム福井で開催される総合開会式を皮切りに、各部門に分かれて、競技や発表、交流など高校生の文科系部活動の最大イベントが盛大に繰り広げられます。

各部門に参加する高校生は全国2811校、約1万9千人が集まり、演劇や美術、工芸、郷土芸能、かるたなど20部門に加え、茶、華道や国際交流などで、活動成果の発表や展示が行われ、さらに生徒間の交流事業が実施されます。

運営面では、県内の教員977人、ボランティアを含めた生徒3580人が当たり、大会成功に向けて、若い力を結集することになっています。

8月8日、午後零時半からサンルーム福井で行われる総合開会式では、式典を

- パレード ●吹奏楽
- 器楽・管弦楽 ●郷土芸能
- 吟詠剣詩舞 ●器土芸能
- マーチング/バンド/パトントワリング
- 美術・工芸 ●書道
- 写真 ●囲碁

●総合開会式 ●日本音楽

●合唱 ●放送

●井 論

●小倉百人一首かるた

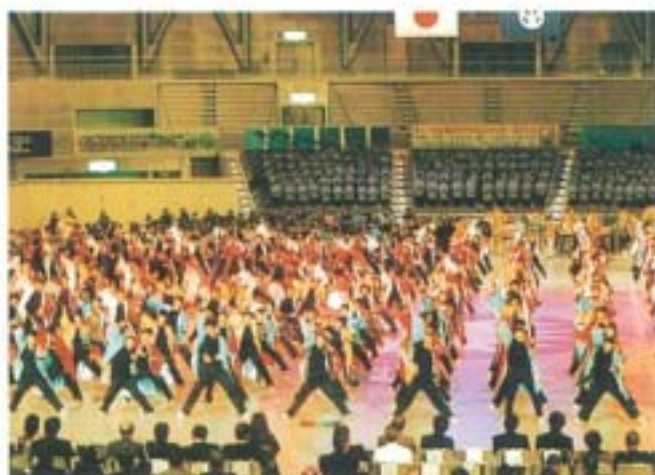
●文 芸

●将 棋

●演劇 ●新聞

全高総文祭'03福井部門別会場





プレ総合開会式でフィナーレを飾った総踊り

## 大会の成功を目指し 県高文連 東光会長に聞く



福井県高校文化連盟  
会長 東光正浩氏

化祭が開催されます。2年前から実行委員会を立ち上げて準備をしてきましたが、県高文連もそれらを念頭に、大会運営の準備や各部門のレベルアップを図って参りました。福井県では、50

**Q** 全高総文祭福井大会も近い。この4月、その元締めといえる県高文連会長に就任された。ご感想は。  
**A** 全国から約1万9千人の高校生が、福井大会に参加して参ります。本県で今だからない大規模の文

**Q** 年に一度しかないこの文化祭の担当者として、その職責の重さを感じているところですか。  
**A** 高校文化部のインテラーハイといわれる福井大会が、どのようであってほしいと思われまが、現在の高校生は夢をもちにくい環境におかれているとよく言われます。そのような中で、多感な高校生の時代に創造性に富む、芸術・文化活動に打ち込むことは少なからず、若者の精神文化の高揚につながるものと確信します。福井県で全国大会が開催される機会に、県内高校の文化活動において、活動内容の充実、深化を図り、より芸術性の高い活動につなげていきたいと願っています。各部門の発表・大会に参加する生徒諸君にとっては、今回の体験は

**Q** 大変貴重なものになると思います。他県の高校生から大いに学び、今後の活動に生かし、後輩に伝えてほしいと思います。  
**A** 大会に当って、今、高校生に、県民の皆さんに望むことを一言。4月の新聞で、都道府県の地名を地図上に記入する調査結果(帝國書院の調査)が発表され、福井県の知名度が最下位の残念な成績でした。この大会を福井県で開催し、成功させることができれば、福井県の知名度を少しでも上げる願ってもない機会であると思います。さらに高校生の文化芸術活動の先導地の仲間入りをして、福井県の名前を全国に大いにアピールしていきたいと考えています。県民の皆様のご支援、ご協力をよろしく願っています。

り、紫式部の物語や橘原寛との出会いなどを演ずるほか、合唱部門では、福井の自然を象徴する九頭竜川のめぐみ、また、伝統的祭りの三國祭りの山車、勝山の左義長を表現する郷土芸能など福井の特色を生かした多彩な発表と若人のエネルギーを発信する幕開けとなります。福井市では午後5時15分からパレードが行われます。全国57校のマーチングバ

高校生実行委員が各部門で協議してきたほか、委員長会議も何回か開催し、部門ごとの交流内容などを報告し合い、積極的にアイデアを出しています。例えば、文芸部門では自作詩を朗読する「詩のポクシング」を企画、演劇では初めて生徒講評委員会を開いたり、書道では紙すき体験で作った和紙に揮毫したり、新聞では伝統産業取材ツアーを実施するなど目

新しい試みをごなしています。また、啓発活動でも、大会テーマやポスター、イメージソング、キャラクターなどすべて生徒のオリジナル作品で、生徒主体の手作り大会を目指しています。50年に一度の機会である福井大会の成功のため、県民挙げて応援しようではありませんか。

## 高校生主体の手作り大会に期待

はじめ3部構成で進められます。第2部では、大韓民国やアメリカ合衆国の高校生による音楽の発表やこの大会の前、次年度開催県(神奈川県・徳島県)の高校生による郷土芸能が披露されます。第3部では、福井県の高校生の発表にうつり、演劇部門では、離体天鳳の田造

ンドやバトントワリング部の約1840人が県庁前をスタート、だるまや西武前を通り、フェニックス通りを経てワシントンホテルまで、約1キロメートルを行進します。今大会の特徴は、高校生が自主的に企画・運営を担当しています。約2百人の



大会のカウントダウン啓発活動に「ふくい春まつり」に参加した仁愛女子高校マーチングバンド

## 部門別会場・日程

部門	会場	開催時期	開催日時
総合発表式	サンドーム福井	福井市	8/8 12:30~
パレード	福井市駅前	福井市	8/8 17:15~
演劇	福井市文化センター	福井市	8/10・11・12
文芸	福井市文化センター	福井市	8/10
音楽	福井県立音楽堂	福井市	8/11・12
書道	福井県立音楽堂	福井市	8/9・10
日本書	福井市文化センター	福井市	8/9・10
詩吟	福井市文化センター	福井市	8/10
郷土芸能	フェニックス・プラザ	福井市	8/10 11
手紙	福井県立音楽堂	福井市	8/10
演劇	福井県立音楽堂	福井市	8/9~12
演劇	福井県立音楽堂	福井市	8/9~12
写真	福井市美術館	福井市	8/9~12
書道	プラザ 福井	福井市	8/11~12
演劇	福井県立音楽堂	福井市	8/11・12
演劇	多田記念 大野有線劇場	大野市	8/9・10
演劇	小浜市文化会館	小浜市	8/9・10
小浜百人一首かるた	ハートピア春江	福井市	8/9・10
演劇	福井市美術館	福井市	8/9~12
文芸	勝山市民会館	勝山市	8/9~12

# 第20回国民文化祭 実施計画大綱決まる

テーマ

福のくから ぶくらむ文化 羽ばたく未来



第3回ふくい県民文化祭「洋舞フェスティバル」で古典バレエを演ずるフクイバレエ団・研究所チーム

平成17年の秋に本県で初めて開かれる「第20回国民文化祭・ふくい2005」の実施計画大綱が、6月24日、福井市の県自治会館で開かれた同祭実行委員会第2回総会で決まりました。

大綱では、主催事業は平成17年10月22日（土）～11月3日（木）の13日間、県内全市町村を会場にして展開される計67の事業の日程と会場をまとめています。

初日の10月22日は、同祭の開会をアピールするため県内外の芸能や祭りなどを集め、福井市のフェニックス通りで躍動感あふれるパレードを実施します。また、サンドーム福井では、開会式をはじめ、福井県の風土や文化の特色を生かした観客と一体となったオープニングステージを展開することになっています。

## 全市町村を会場に、日程決定

11月3日、開会式は県立音楽堂で行い、フィナーレを飾ります。

福井県の歴史、風土、産業、伝統文化などに着目し、「福井色」をアピールするため、「人と福井と文化」や「暮らしと精神文化」のシンポジウムを開催することになっています。

分野別フェスティバルでは、音楽、演劇、伝統文化、舞踊、文芸、美術など38事業の開催日と会場が決められ、それぞれの会場では、県内外から参加する文化団体の活動成果の発表や競演、展示などが行われ、県外から参加する人との交流の輪を広げることになっています。

### 開催地マップ



特に、本県らしさを前面に出した分野別フェスティバルを企画し、本県が主要な発祥地であるハーブやマリリンパに着目し、これらの室内楽の祭典を開くほか、文芸の分野では、手紙文学―筆啓上賞で内外に人気を集めていることに因み、「詩歌と手紙のメッセージ展」が丸岡町で計画されています。また、恐竜文化や縄文文化フェスティバルなども企画され、会場となる自治体を中心にその具体的中身が詰められることになっています。

祭典の開幕まで、あと2年余り、県民総参加で、開催気運を高めたものです。

## 第20回国民文化祭・ふくい2005開催地・日程

## 22 今庄町

10月30日(日) 越前・若狭食の祭典(そば街道)  
[今庄地区内]

## 23 河野村

10月29日(土) 華のフェスティバル(水仙)  
[河野村役場大ホール]

## 24 朝日町

10月22日(土) シンポジウム「暮らしと精神文化」  
[朝日町中央公民館]  
10月23日(日) 室内楽の祭典(マリンバ)  
[朝日町勤労者体育センター]

## 25 宮崎村

10月22日(土) 茶道フェスティバル  
[越前陶芸村文化交流会館]

## 26 越前町

10月29日(土) 華のフェスティバル(水仙)  
[アクティブランド体育館]

## 27 越前村

10月29日(土) 華のフェスティバル(水仙)  
[越前水仙の里公園]

## 28 糠田町

10月23日(日) 民俗芸能の祭典(和太鼓)  
[オタイコヒルズ]

## 29 清水町

10月29日(土) 文芸祭(現代詩)  
[農村環境改善センター]

## 2 敦賀市

10月23日(日) 民俗芸能の祭典(国際民俗芸能祭)  
[プラザ萬歳]

10月23日(日) 莉楽の祭典  
[敦賀市民文化センター]

10月28日(金)～30日(日)  
華のフェスティバル  
[プラザ萬歳]

10月29日(土) 文芸祭(俳句)  
[プラザ萬歳]

10月30日(日) 文芸祭(合段大会)  
[プラザ萬歳]

11月3日(木) 能楽の祭典  
[プラザ萬歳]

## 4 小浜市

10月23日(日) 茶道フェスティバル  
[新の湊資料館]

10月29日(土) 越前・若狭食の祭典  
[御食国会館]

10月29日(土) 越前・若狭食の祭典(鯖街道)  
[御食国会館]

## 30 三方町

10月23日(日) 縄文文化フェスティバル  
[縄文ロマンパーク他]

## 31 美浜町

10月29日(土) 文芸祭(短歌)  
[美浜町中央公民館]

## 32 上中町

10月29日(土) 越前・若狭食の祭典(鯖街道)  
[栗川町]

## 33 名田江町

10月29日(土) 民俗芸能の祭典(和太鼓)  
[流星館]

## 34 高浜町

10月23日(日) 能楽の祭典  
[高浜町文化会館]

## 35 大浜町

11月2日(水) 演劇祭(現代劇)  
[大浜町総合市民センター]

## 18 坂井町

10月29日(土) 文芸祭(川柳)  
[坂井中学校体育館]

## 5 大野市

10月23日(日) 民謡・民舞の祭典  
[エキサイト広場体育館]

10月29日(土) ヤングミュージックフェスティバル  
[エキサイト広場体育館]

## 6 勝山市

10月29日(土) 産業文化フェスティバル(IT)  
[勝山市民会館]

10月30日(日) 恐竜文化フェスティバル  
[勝山市教育福祉会館]

## 12 和泉村

10月22日(土) 莉楽の祭典  
[和泉村ふれあい会館]

## シンボルマーク



## 3 武生市

10月22日(土) 開会式・オープニングフェスティバル  
[サンドーム福井]

10月22日(土)～23日(日)  
演劇祭(現代劇)  
[武生市文化センター]

10月22日(土)～23日(日)  
源氏物語フェスティバル  
[武生パレスホテル]

10月28日(金)～30日(日)  
産業文化フェスティバル  
[サンドーム福井]

10月30日(日) 合唱の祭典  
[武生市文化センター]

10月31日(月) 文芸祭(俳句)  
[武生パレスホテル]

11月3日(木) 全国吟詠刺し舞踊祭  
[サンドーム福井]

## 7 鯖江市

10月23日(日) 日本舞踊の祭典  
[鯖江市文化センター]

10月23日(日) ファッションフェスティバル  
[鯖江市情報会館]

10月30日(日) オペラ  
[鯖江市文化センター]

## 19 今立町

10月22日(土)～10月27日(木)  
産業文化フェスティバル(和紙)  
[いまだて芸術館]

## 20 池田町

10月29日(土) 能楽の祭典  
[能楽の里文化交流会館]

## 21 南条町

10月30日(日) 民謡・民舞の祭典  
[南条文化会館]

## 1 福井市

10月22日(土) オープニングパレード  
[福井市フェニックス通り]

10月22日(土) シンポジウム「暮らしと精神文化」  
[福井県生活学習館]

10月22日(土)～10月23日(日)  
映像文化フェスティバル  
[フェニックスプラザ]

10月22日(土)～11月3日(木)  
美術展(日本画・洋画)  
[福井県立美術館]

10月22日(土)～11月3日(木)  
美術展(写真・彫刻・工芸・デザイン)  
[福井県国際交流会館]

10月22日(土)～11月3日(木)  
美術展(書)  
[福井市立美術館]

10月22日(土)～11月3日(木)  
生活文化総合フェスティバル  
[福井県産業会館]

10月23日(日) 吹奏楽の祭典(吹奏楽)  
[福井県立音楽堂]

10月29日(土) シンポジウム「人と機械と文化」  
[福井商工会議所]

10月29日(土)～10月30日(日)  
朝倉文化フェスティバル  
[朝倉氏遺跡高辺]

10月30日(日) 吹奏楽の祭典  
[マーチングバンド・パトントウリング]  
[福井県立体育館]

10月30日(日) オークストラの祭典  
[福井県立音楽堂]

10月30日(日) 浮舞フェスティバル  
[フェニックスプラザ]

11月3日(木) 閉会式・グランドフィナーレ  
[福井県立音楽堂]

10月30日(日) 浮舞フェスティバル  
[フェニックスプラザ]

10月30日(日) 浮舞フェスティバル  
[フェニックスプラザ]

10月30日(日) 浮舞フェスティバル  
[フェニックスプラザ]

10月30日(日) 浮舞フェスティバル  
[フェニックスプラザ]

10月30日(日) 浮舞フェスティバル  
[フェニックスプラザ]

## 8 美山町

10月30日(日) 越前・若狭食の祭典(そば街道)  
[みやままこころ文化の郷]

## 9 松岡町

10月23日(日) 演劇祭(人形劇)  
[福井県立大学交流センター]

## 10 永平寺町

10月30日(日) 茶道フェスティバル  
[緑の村ふれあいセンター他]

## 11 上志比村

10月30日(日) 室内楽の祭典(ハープ)  
[上志比文化会館]

## 13 三国町

10月22日(土)～11月3日(木)  
現代美術展  
[三国町郷土資料館]

10月29日(土) 文芸祭(漢詩)  
[みくに文化未来館]

## 14 芦原町

10月30日(日) 日本舞踊の祭典  
[グランディア芳楽]

## 15 金津町

10月22日(土)～11月3日(木)  
現代美術展  
[金津創作の森]

## 16 丸岡町

10月23日(日) 詩歌と手紙のメッセージ展  
[丸岡町民体育館]

## 17 春江町

10月23日(日) 室内楽の祭典(大正琴)  
[ハートピア春江]

■は県主催事業

# リニューアルした 福井県立歴史博物館訪問

シリーズ12

新しくなって開館3カ月の「福井県立歴史博物館」を訪ねました。  
 ふくいの「モノ」の出合いを原点に、仕掛けいっぱい感動の再現に、  
 なつかしさと新しい発見がいくつもありました。  
 紹介しきれない、楽しいみどころがたくさんあります。あなたも一度、  
 是非どうぞ。

## ふくいの「モノ」の出合いと感動の再現



リニューアルした福井県立歴史博物館 外観

### 館内案内



### 情報ライブラリー 1F 映像を中心に「ふくい」の歴史・文化財を探訪

情報ライブラリーは、映像を中心に、福井の歴史や文化財に関する情報を知ることができるコーナーです。ビデオライブラリーでは、落ち着いた空間で、これまでの博物館でご覧になれた映像に加え、博物館オリジナルのデジタルハイビジョンによ



- ④ 博物館オリジナル番組をみられる個室ブース
- ⑤ 絵馬など高精細デジタル画像を見るスコープビジョン

る美しい映像と優れた音響も思う存分楽しむことができます。  
 メディアラウンジでは、図書学習やコンピューターでの情報検索などもできます。

### オープン収蔵庫 1F 博物館の“舞台裏”をのぞく

まず、正面玄関から入って左へ曲がると、広い収蔵庫に資料がたくさん集められています。博物館の舞台裏をのぞき込む気分を味わいながら、資料をじっくりご覧いただくことができます。資料の分類や整理を



ワークショップも行う広い収蔵庫

している所や修復復元をしている所も見る事ができます。  
 また、ここでは、ワークショップやミュージアムサポーターズクラブの活動も行われます。



場所：福井市大宮2-19-15

#### 【交通案内】

- JR福井駅より
- タクシー約10分
- 市営バス5分のみ
- 【高木線】
- 県立歴史博物館前下車
- 【丸岡線 大糸線(経由)】
- 高前町下車
- 市営バス
- 【田部・文政方面】
- 高前町下車

歴史ゾーン

2F

現代から原始・古代へさかのぼって…  
「越前のモノづくり現場」を探訪



歴史ゾーンの入口「現代の工芸」から



江戸中期から大正期まで福井で活動した「夢楽洞」の店と工例



「歴史ゾーン」の入口は、美しいリボンと和紙が醸成する「現代の工芸」からはじまります。回廊の中央には、時代の流れをデザインしたヒストリーウォールが置かれ、明治～昭和期のさまざまなピンなどが並んでいます。

回廊をぬけると、つきあたりに「ミュージアムシアター」が設けられています。

シアターの正面には、福井の近代産物の隆盛のきっかけになったジャカード機が置



ミュージアムシアター

■昭和12年完成当時の「福井人絹会館」をモデルにしています。  
■戦後の記録映像や越前の給馬などのハイビジョン番組を上映しています。



鎌倉時代後期の越前焼の窯、なかに並ぶ壺や甕

かれていきます。

古墳時代、たて穴住居の中でつくられていた管玉や日本六大古窯の一つ、長い歴史を持つ越前焼の窯、江戸中期から北陸一帯に流通していた夢楽洞の給馬など、福井県の歴史の流れの中で育まれてきた福井ならではの「モノづくりの現場」を迫力いっぱいジオラマで再現しています。また、越前赤瓦や越前青石（笏谷石）の集合展示に歴史と進化のあとを知ることができます。

あの頃にタイムスリップ

「トピックゾーン」では、「昭和のくらし」を大きくとりあげています。

昭和30年代後半から40年代の生活の場、懐かしいモノたちに囲まれた空間、町かどや村の農家を再現しています。

板橋がつづく通りには、丸い郵便ポスト、木の電信柱には、丸い笠がついた街灯、大通りには映画館の看板があったりします。村の農家は、古い母屋を改装して洋館を作り、台所を増築したばかりです。まさに「あのころ」にタイムスリップしたような気分が味わえます。

この「昭和のくらし」は、年



「マイカー」のコーナー  
昭和30～40年代前半の自家用車を展示

に一度、季節の衣替えを行うことのできるのも必見です。

昭和30～40年代に使われたさまざまな生活用品が壁一面に詰め込まれたフリー

トピックゾーン

2F

昭和のくらしの変遷を追って  
町かどや農家を再現



昭和30年代後半のまちかど駄菓子屋・本屋・食堂の3軒が並んでいます。

「懐かしいモノ」の再会に感動

ボックスや、ガラスの上に乗って資料をのぞき込める床面展示、かつての子供たちがあこがれた冒険雑誌や学用品や玩具など思わず目移りする展示がいっぱい広がっています。

「マイカー」のコーナーには、あのころの車やオートバイが並んでいます。

今はあたりまえの自家用車ですが、スバル360やパブリカを目の前にすると、はじめて車を手に入れた時の思い出が蘇ってきます。記憶の奥にしま込まれた「懐かしいモノ」の再会に感動しました。

# 風花随筆文学賞

げんでんふれあい  
福井財団賞

## 作品紹介

そういう年廻りというものがあるのか、平成十一年から十四年にかけて私たち夫婦は本当にツイていなかった。夫の病氣と離職に続き待ちかねた赤ちゃんが流れて、私の体調もぐずぐずと元に戻らなかった。今度こそはと頼みをかけた家の新築話が頓座すると、言いようのない疲労感が私たちを襲った。

誰が悪いのでもない。世の中にはもっと大きな災難に見舞われた人もいる、何のこれしきと思っても力が出ない。何時燃発するかわからない可立ちを胸に秘めて、お互いに腫れものに触るようにならないうちに生活した。そうすれば、子どものいない夫婦とはひと言も口をきかずとも一日が過ぎてゆく。



### 一般の部

げんでんふれあい福井財団賞  
野波成恵さん(敦賀市)

テレビだけが賑やかな食卓のしらしらとした淋しさ。何かが変わったのは金ヶ崎への散歩がきっかけである。ウォーキングというにはあまりにゆっくりと、どちらからともなくおすおすといひ合って夕方の一時間を一緒に歩くようになった。少し離れて歩く私たちの姿は余程滑稽だったのだろう。もう少しくっついて歩けば、と近所の人に冷やかに

されながら、散歩は嬉しい日課となった。数えてみると金ヶ崎への石段はきつかり百段あった。毎年四月のお祭には桜の小屋を交換して思いを伝え合う花換の社である。縁結びの御利益があったのかどうか、季節の移り変わりを共に味わうことが私たちのささやかな幸せになった。

も一人では出来ぬと言うではないか。心の天秤は一朝一夕では変えられぬものらしい。私はまだ自分の幸福を置り、他人の不幸を置り、羨んだり胸を撫で下ろしたりしていたのだと思つた。



財団賞を受ける野波成恵さん

た。神々しい程の美しさに感動して、この夕陽は私のもの、とおどけて私が言った。夕陽は誰のものでもない、と夫が笑って答えた。だって、と私は声を震わせた。だって私たちには何にもないじゃないの。夫を責める言葉は声にはならなかったが、私はただ泣いた。夫は戸惑いうつむいて、最後のひと声が落ちてしまった夕陽を背に無言で家に帰った。幸せはまた指からこぼれ落ちてしまったような気がした。

ひと雨ごとにムクムクと大きくなるホウキ草の一種をトトログサと勝手に名付けて成

長を羨しにもした。指先ほどだった柿の突も大きくなった。赤レンガ倉庫の灯に誘われて行ってみると、思いがけなくジャズの生演奏を聞くことができた。私たちは少しづつ元氣になり、夫のふくらはぎは一回り太くなった。

言葉が一種の暗号だとすれば、記号が記号として機能するには一定の量が必要で、私たちはどうやらその量を満たしたらしい。散歩を繰り返すうち、夫と気持ちが通じ合うようになってきた。感じ方や考え方の違いを受け入れられるようになった。時が薬、日が薬とはよく言ったものだ。

そのうち私は句碑にある沖ゆく船の幸せに思い至った。淋しさを恐れ、不幸だと思ふのは私が心の天秤で幸福を置っていたからである。幸不幸は置れるものではなく、置る必要もない。春の鏡のような海をひとり目的地に向かう船の漣み渡った気持ち。それが幸福でなくて何である。沖ゆく船と私はその時確かに繋がり、繋がることで私はずんと安心した気持ちになった。

金ヶ崎から眺めると人々の営みが皆いとおしく思える。来年のことを言うと鬼が笑うというが、鬼が笑うほど楽しい空想を何でせずにいられようか。私は次の花換え祭りが待ち遠しい。石段の上にも能舞台のあたりにも雪洞が灯され、金ヶ崎の桜は宙に舞うように咲く。その下を大勢の人々が笑いざざめきながら通ることだろう。その人々と私はどこかで繋がっていると思いたい。

この秋、石段の傍らに彼岸花が赫々と咲いた。私にはそれが何かスタートの合図のように思えた。小さな祝福の花火のようにも、応援の歓声のようにも思えたことだった。

## 授賞式



撮影

## 文学賞

### 高校の部

坪川さん (藤島高) 最優秀賞

平成14年度の「風花随筆文学賞」(同実行委員会主催、当財団特別協賛)の授賞式が、3月

入賞者  
「一般の部」▽最優秀賞 水木晃(山梨県甲府市)▽ごころとごころをつなぐもの▽マコト賞・福井新





シリーズ  
ふくいの  
伝統芸能

福井県指定無形民俗文化財

## 大瀧神社・岡太神社の春祭り

今立町瀧大

「権現さんの春祭り」と呼ばれる大瀧神社、岡太神社（今立町大瀧）の春季例大祭が今年も5月3日から5日にかけて、厳粛、盛大に営まれました。同祭事は、千数百年の古いきりかたりのまま、今も受け継がれている全国でも数の少ない祭りといわれ、昨年4月、福井県無形民俗文化財に指定されました。今回、「神と紙」その郷の祭りを追ってみました。

## 「神と紙の郷」古式を守る春祭り

この郷の祭りは、春と秋とで年に2回行われますが、春は、紙祖神川上御前をおまつりする岡太神社と大瀧神社のお祭りであり、秋は大瀧神社だけのお祭りとなります。5月3日、白丁姿と板付姿の籠子丁番がかつく神輿で、山頂の奥の院より神迎えをする「お下り」からはじまって、3日間



5月3日夕方・奥の院からご神体を神輿で里宮へ「お下り」

のお祭りが続きます。

2日目の里宮でのお祭りには、「紙幣舞」「紙神楽」や満立の神事などが奉納されます。

3日目には、里宮から「神輿渡御」五箇まわり「がすさまじい迫力で繰り広げられます。そして、お祭りの最後は、夜のとりもおりた間のなかで、万灯に高張り提灯（秋は松明）で、神さまを奥の院へお送りする幽玄な神送りの儀式「お上り」でおわります。

このお祭りは、神社創祀以来、栄枯盛衰を重ねながらも、千数百年、古式のままに受け継がれてきました。

また、昔から、祭事記録を伝えた古文書や、とくに神仏習合のかたちで営まれてきた一連の祭事を具体的に描いた「祭礼図繪巻」など種々な記録が残っており、日本の伝統的な祭として昔ながらのかたちで伝わっているのは全国でもまれであり、いまに残る日本古来の祭りのひとつの典型といわれています。3日間の一連のお祭りを追いました。

## 大瀧神社・紙祖神岡太神社の由来

神郷の入口は、現在、今立町岩本の県道にまたがって立っている鳥居。今は「一の鳥居」と呼ばれています。この右手に自然石による社標が建てられ、「大瀧神社・岡太神社」と横山大観前伯の揮毫による二つの社名が並んでいます。

お山の麓に建つ社殿は、里宮であり、別に山頂には奥の院が建っています。お山は権現山（高さ326メートル）別名大徳山とよばれ、この奥の院は大瀧神社と岡太神社の両本殿が別々に並んで建っています。



大瀧神社。岡太神社本殿、拝殿（国指定重要文化財）

里宮は、時代の遷遷を経て、一つの社殿に本殿として合祀されました。歴史としては、岡太神社が古く、約千五百年前、この里に紙漉きの技をはじめて伝授された女神川上御前を紙祖の神として祀る古社です。

一方、大瀧神社は、同常立尊・伊弉諾尊の二神が祀られ、推古天皇の時代（592-645）に始まったといわれています。

ついで、養老3年（711）には、泰澄大師が大徳山を開き、すでに座す神として祀つてある川上御前を守護神とし、同常立尊・伊弉諾尊を主祭神として、十一面観音を本地佛とする神仏習合による社を創建、大瀧神社と称して、別当寺大瀧寺を建てたとの史実がのこっています。

鎌倉時代には、白山信仰の霊場として栄え、48坊の堂塔伽藍が建ち並び、社僧70



奥の院三殿 正面・大瀧神社、右・岡太神社、左・八幡社

り余名を擁し隆盛をきわめたといわれています。時を経て、織田信長の一向一揆討伐の際には、一山ごとく焼きつくされました。しかし、その後、製紙の奨励、藩政もとの確保などの思わくもあって、秀吉や徳川代々の保護のもと、再度復興し、近隣の鎮守として崇敬を集めてきました。明治になってからは、神仏分離令によって大瀧神社・岡太神社と改称。現在の神社の様相が整いました。



## 神迎え — 奥の院から お下り

祭りの初日は、触れ太鼓のあと山頂の奥の院に鎮座されるご神体を神輿で里宮へお迎えする神迎え（お下り）の儀が行われます。黒紋付の裾をはしおり、白い股引に地下足袋姿の駕籠丁番のほか子供、若者たち元気な里人たちは山頂までお迎えに上ります。神輿をかつく人は白丁姿で身を清めた人たちです。ご神体は、お壱天狗の先払い、里宮よりお迎えの赤天狗・青天狗の案内で里宮へお下りになります。

夕方6時過ぎ、里宮で「宵宮祭」が行われます。

## 「紙能舞・紙神楽」を奉納



岡太講員の伝供で神前に  
ささげられる献饗の儀

4日の例大祭は、衆人の雅楽による荘重な調べて祭事が始まり、「献饗の儀」では岡太講員の伝供により山・海の幸の品々が神前にささげられます。また、年の始めに洒かれた生漉きの越前奉書が奉獻されるのも紙の神さまならではのこといえます。

祭詞奏上あと、女子4人による「浦安の舞」が拝殿の間で、厳かに奉納され、今年には岡本小学校6年生の児童4人が舞を披



4人の小学生が奉納する  
「浦安の舞」

舞しました。

続いて、「紙能舞」が演ぜられます。この舞は川上御前が里の川上にあらわれて、伝授された紙漉きの所作を女一人で奉納する無言舞。今年は、岡本小学校5年生の児童が演じました。続いて、拝殿前では、氏子青年部4人による「紙神楽」が演ぜられます。棒（紙の原料になる原木）2本を手にして、紙漉き明にあわせて無言狂言を演じます。

これらの神事芸能は、平成4年の記念大祭から復活されました。



紙漉き明にあわせて若者  
4人が演ずる「紙神楽」

## 「湯立て神事」を復活

例大祭後、境内では、11時半頃から「湯立ての神事」が行われます。



紙漉きの技を所作順に  
演じる「紙能舞」

神仏習合時代の歴史の中で伝承された祈願の神事で、神前の大釜で湯を沸かし、神官がその熱湯に世をひたし、湯土（湯の花）を参詣者に振りかけ、身を浄める神事です。神社には、この神事に使った大釜が残っており、大龍児権現室蘭十年庚辰三月吉日、と刻印されています。この神事も伝統芸能とともに復活されました。

## 勇壮に練る渡り神輿

5日はあと祭りとなされ、午前中、後祭り祭が行われ、午後、子供神輿と渡り神輿が五箇（大瀬・岩本・不老・新在家・定友）の各集落を巡幸します。集落の各神社では、



湯玉を振りかけ身を浄める  
「湯玉の神事」

少しでも長く地元にお止めしたいと待ちがまえるそれぞれの集落の若者たちと、里宮へ早くお迎えして、あとの祭事をこなしたいとはやる大瀬の駕籠丁番らとの神輿の争奪戦がすさまじい迫力で繰り広げられます。

## 神送り — 幻想の世界

里宮での最後の儀式は、神さまとのお別れを告げ、ご神体を神輿にお移りする遷御祭の儀です。

夜のとほりもすつかりおりた障子のなか、白いマスクをつけた神主が、赤や青のお小袖に包まれたご神体三体を神輿にお移



提灯に照らし出された山道を  
登るお上り神輿

しします。参詣者は一せいに拍手して、お別れを惜しみます。

夜8時、奉送の神輿は、万灯、天狗の先導、神主、総代、区長に続いて白丁姿の若衆によって、けわしい坂道をワッショイ、ワッショイの掛け声も勇しく登っていきま

# 福井の文学碑

幕末の青年志士  
政治思想家 橋本左内 (福井市)



橋本左内「啓発録」石碑=福井市・左内公園

開明的な幕末の先覚者、橋本左内先生が15歳の時に、学問を志す者は、どうしなればならないかを、自分自身にいさかせ、励ますために「啓発録」を著しています。その内容の五つの項目をあげた「啓発録」石碑が福井市、左内公園の墓前庭に建立されています。

この石碑は、平成8年10月、福井市が提唱して展開された「うらがまちづくり」事業の一環として、同市足羽地区推進委員会と足羽公民館が主管して建設したもので、「啓発録」に書かれた去雑心・振気・立

志・勉学・交友の5項目を福井市長清井哲夫氏が揮毫し、伊予の国(愛媛県)産の青石に刻まれています。

この偉大な先人の残した言葉を福井に住



橋本左内先生像=左内公園

む人の生活の教訓として、また人生の指針になるものとして、継承していこうと、その趣旨を簡潔に刻書し、同年10月7日、左内先生の墓前祭に続いて、両碑の除幕式が行われています。

一方、左内先生の生誕地(同市香山2丁目9)にも、昭和30年(1955)3月11日、左内の誕生日を記念して、戦後民主主義議会の初代県議会議長を務められた故野村栄太郎氏の献石で「啓発録」石碑が、同地に建立されています。

「啓発録」は5章にわたって少年左内が、将来の理想を描いて自戒のため書いたといわれ、その考えの深さや鋭さ、心の立派さに感嘆するばかりです。以下5項目の内容を

を要約してみました。

**去雑心**(雑心を去る) 雑心とは、俗にいうわらびしい心のごとで、つまらぬ遊びにふけり、父母にあまえる心のあるのは、すべてこの雑心より起こるものである。学問に志したからには、雑心を去ることの大切さを述べています。

**振気**(気を振るう) 一とは、負けることは恥と考え、油断なくがんばる心のことである。鳥や獣にだってあり、この心がひど

左内公の遺訓と「啓発録」石碑

く立っている時は、人にもとびかかって来ることさえあるものである。ましてや人にはこの心がないようでは、とても役立つ人にはなれないであろう。

**立志**(志を立てる) 一志とは心がどちらを向いているかということ、これは書物や師友の励ましとが、あるいは苦勞を積んだとか、情熱心などにより立ち定まるもので、平常安楽にいて心のたるんでいるものには立つことがない。昔から偉大な人は、皆、高い志を持ち、たくましい心があったからで、そのないものは満足にこれというものもなく終わっている。

**勉学**(学に努める) 一学とはならうとい



「啓発録」石碑生誕地の地にも = (福井市香山2丁目)

## 交通案内



うことで、すぐれた人のよい行いや事業をみては、それを慕いならつて、自分もきつとその人に負けない人にならうと力めることが大切である。

**交友**(交友を振ふ) 一自分と交わりのある友は、みな大切にしなければならぬが、しかしその中には益友と損友があるものであるから、友をえらぶということが大切である。

## 左内公の略歴

橋本左内先生は、天保5年(1834)3月11日、福井城下常盤町(現・香山2丁目)で藩医橋本長綱の長男として生まれました。幼少から学問を好み、藩の儒者吉田東望に儒学を学び、大阪の精方洪庵、江戸の坪井信良、小浜の蘭医杉田成徳から蘭学を修め、嘉永元年(1848)15歳で「啓発録」を著しました。

安政2年(1855)福井藩主春島公は、左内を藩医から、御医院番に抜擢。左内は再度江戸に出て、西郷隆盛らと交わり、嘉永6年(1853)ペリー来航以来、国事多難となり、春島公の側近に加えられ、当時の志士の中でも最も開明性のある考えをもって政事に奔走しました。春島公の幕政改革は、大老井伊直弼に相替れられず、安政6年(1859)左内は、江戸伝馬町の獄内で、26歳の短い生涯を終えました。

# 敦賀市立博物館所蔵 逸品絵画誌上展

# 11

敦賀市立博物館では郷土にゆかりのある作家や師弟関係などでつながる近世・近代絵画を系統的に収集しています。今回も所蔵逸品絵画2点を紹介することになりました。



## 五位鷲図

一幅 冷泉為恭筆



## 不動明王像

一幅 冷泉為恭筆

## 解説

### 不動明王像

右図は不動明王を描いています。深紅の「透棧羅漢」を背に、右手に剣、左手に錘を握り、方形の岩板を積み上げた「慧々座」に結跏趺坐の姿です。容貌は鬚髪を長く一本にまとめて描き、目は左右異なり、一方は天、他方は地を見る「天眼地目」で、口の両端にある牙は左右上下下に向くところの忿怒の形相です。

密教では大日如来の転身が不動明王と説かれ、威厳に満ちた尊容から災魔を屈服するとの信仰をあつめていました。

この図は復古大和絵画派の名手、冷泉為恭が師と仰ぐ藤海阿闍梨の依頼によって揮毫した作品です。

### 五位鷲図

池の水際に、「おいかけ」の付いた巻物の箱をかぶり、既製の纏色の袍を着用し、単に襷文の表袴をはき、その上に皮靴・黒漆・鍍金金具の半靴を履いています。また腰には太刀を帯び、正統に威儀を正し、池の隅と対面している図です。

この束帯姿は六位の武官を示すもので、羽はたさしなから、武官の顔を正視する腫の表情には、たまため緊張感がうかがわれます。

この図の出具（画題）の由来を検索すると、「平家物語」に求められ、五位顯命名の由来を知ることが出来ます。

本図における六位蔵人の真剣な表情と、下着が透けて見える束帯姿の描写は、為恭独自のものであり、蔵人の視線と、対峙する鷲の眼差しとの交差は秀逸といえます。

### 経緯

冷泉為恭は、文政6年（1823）9月、狩野其阿永泰（狩野永岳の弟）の3男として生まれました。通称は三郎、幼名は善三、または永泰、のち為恭と稱しました。

幼少の頃より家業の狩野派の画法を学ぶ一方、それにあきたらず古大和絵に強いをほせ、大和絵の技法を独習、また、復古大和絵派の始祖、田中訥言に私淑し、数々の優れた作品を残しています。中でも、為恭は、「源氏物語」など古典文学や「古今和歌集」などの歌集に通曉し、有職故実にも造詣が深く、これらを原典とする典雅な作品が目立ちます。

嘉永3年（1850）公家岡田季兵衛の養子となり、文久2年（1862）近江守に任じられます。晩年は攘夷派に襲撃され流離生活に明け暮れる身となり、42歳の若さで非業の最期をとげます。

朗読と音楽の夕べ

4/26

「日色ともゑとマリオネット」の朗読と音楽の夕べ（福井新聞社、当財団共催）が、4月26日夜、福井新聞社・風の森ホールで開催されました。このコンサートは、風の森ホールの1周年と財団創立5周年を記念して開催したもので、劇団民芸の女優として広く活躍する日色さんとホルトガルギター奏者の湯浅隆さん、マンドリン奏者の吉田剛士さんによるアコースティック・デュオ「マリオネット」が共演。哀愁漂う音色に寄せ、幻想的な物語の世界が展開さ



幻想的な物語の世界と哀愁漂う音色で共演したコンサート

女優の日色さんとマリオネット共演  
詩とギター 幻想の世界へ誘う

福井

日色さんは第1部で、動物たちの伝説を題材にした工藤直子さんの詩「でんせつ」を朗読。マンドリンと、涙の形、といわれるホルトガルギターから切なく、温かみのある弦の調べが流れる中、「ウジラはときどきぶらぶらとため息を吹くことになっている」など、スライド映像とあわせてユーモラスな詩の世界を広げていました。第2部では、オリジナル音楽の制作を中心にポピュラー音楽などを演奏。第3部では、朗読が「ソロ」で行われ、最後に茨木のり子さんの詩集「マザー・テレサの瞳」などを題材に再び共演。またアンコールに際して「蘇州夜曲」が演奏され、集まった約300人の聴衆は心に染み入るステージに堪能していました。

池坊 県連合支部 創立55周年 花展開く

5/10-11

同展には県内各地から380の作品が出展され、花本来の美しさを生かした伸びやかな作品が会場を華やかに彩っていました。7つの支部を代表して花器をオブジェ代わりに使った大作をはじめ、会員毎に、気品漂う生花、伝統的な立花、個性豊かな自由花と作風はさまざま。シヨウブ、ナツハセなど季節感あふれる作品が並び、また、母の日に因んでカーネーションを素材にした可愛らしい小作品もあり、鑑賞に訪れた人たちは、多彩な作品を楽しみながら見とれていました。



季節感あふれる多彩な作品をじっくりと鑑賞  
＝敦賀市プラザ萬象

15年度財団助成事業決まる



フクイバレエ・コンサート'03 ジュニアミュージカル  
5月4日、福井市文化会館、当財団協賛

県内の文化団体等の事業活動を支援する平成15年度の財団助成事業は、4月末日で申請を締め切り、4月3日と5月22日の2回に分け「選考委員会」を開催。審査結果の答申をうけ、本年度は130団体、助成総額2522万円の交付を決定しました。助成対象事業別交付額は下表のとおりとなっています。本年度初めて助成対象となった団体は57団体で全体の44パーセントを占めました。

助成総額  
2522万円・130団体

平成15年度財団助成事業別交付決定一覧

事業名	助成対象事業名	団体数	助成交付額
地域文化の振興事業	郷土の歴史・文化の保存伝承事業	13	2,360千円
	市民文化団体等活動事業	48	8,700
	文化アドバイザー派遣事業	1	1,000
	国際文化交流事業	5	950
	文化のまちづくり事業	12	2,600
ふれあい及びゆとりの創造事業	ボランティア団体活動事業	13	1,350
	各種文化サークル活動事業	15	1,500
	環境保全実践団体活動事業	11	1,560
芸術鑑賞機会の提供及び文化創造事業	芸術公演助成事業	6	1,600
	市民参加型芸術文化事業	5	1,600
	福井県高等学校総合文化育成事業	1	2,000
合計		130	25,220

多彩な作風  
380点を披露

敦賀

池坊福井県連合支部創立55周年を記念した「いけばな池坊展」(主催＝同連合支部、当財団後援)が5月10、11日、敦賀市プラザ萬象で開催されました。初日、10時から玄関ホールで開会式が行われ、敦賀市河瀬一治市長らの祝辞のあと来賓らのテープカットで、会場は2つのホールとホワイエにフルに設置された華やかにオープンしました。

6/3

敦賀

## げんでんふれあいコンサート・ミュージックフェスタ'03

ゲストに  
岩崎宏美さん  
夏川りみさん

当財団主催の「げんでんふれあいコンサート・ミュージックフェスタ'03」(原電協賛)を6月3日夜、敦賀市民文化センターで開きました。

公演には、北野タダオ&アロージャズオーケストラ(AJO)、ゲストボーカルに岩崎宏美さんと夏川りみさんの豪華な顔ぶれで、会場には約1200人のファンで開きました。



アンコールに応じて熱演する  
岩崎さん(右)、夏川さん(左)とAJO

ンが詰めかけ、軽快で心地よい調べと持前の豊かな声量に、熱気に満ちていました。

ステージは、2部構成で進められ、1部では、夏川さんがピアノとギターの伴奏で、沖縄の方言の子守唄「フナムシウタ」など会場の手拍子と一体となって歌い上げ、憂愁こめたヒット曲「涙そうそう」を熱唱しました。2部では、岩崎宏美さんが登場、姉妹の生い立ちや歌手生活などをユニークなトークを交え、持ち歌の「マドンナたちのララバイ」や「ロマンス」などを歌い上げ、最後に、全出演者で、ジャズの調べに乗って「バケイション」を高らかに共演。またアンコールに応じて「私の青空」をすばらしいハーモニーとAJOの熱演に惜しみない拍手に包まれました。

6/7

高浜

## 今川裕代ピアノコンサート

優雅な旋律で魅了

ヨーロッパを中心に幅広く演奏活動を続けている若手・ピアニスト今川裕代さんのコンサート(当財団協賛)が6月7日、高浜町文化会館で開かれました。クラシックの名曲6曲が演奏され、約500人の聴衆は、叙情性に満ちた優雅な旋律に



曲の合間にエピソードなどを語る  
今川裕代さん=高浜町文化会館

酔いしました。

今川さんは、当財団の芸術新人特別奨励金支給制度の受給者としてオーストリアの国立音楽大学を卒業、欧州の数々のコンクールに受賞歴を誇る国際的ピアニストに成長。今川さんの一時帰国を機会に、同町内の女声コーラスグループ「グラッセス高浜」が企画。高浜町文協共催のもとに開催しました。リサイタルは、モーツァルト「ピアノソナタ第17番八長調K545」、ショパン「ノクターン変ホ長調作品9-2」など広く親しまれている名曲を披露。曲の合間ごとに演奏曲の時代背景や小浜で過ごした子供時代のエピソードなどが語られ、鍵盤に技のすべてを吹きこむ熱のこもった演奏と、時には繊細な音色の調べに、大きな拍手が送られました。

## 文化講演会・県連合会と共催

料理研究家  
医学博士

服部幸應氏を招く

6/29

福井

「食育のすすめ」で健康を

財団では福井県連合婦人会と共催して、テレビ番組などでおなじみの服部栄養専門学校校長の服部幸應氏を講師に招き、6月29日、福井市の県自治会館で文化講演会を開きました。

講演会には県内の地域婦人会のリーダーら約400人が会場を埋め、「食育のすすめ」をテーマに、時にはユーモアを交えた、講師の弁舌さわやかな口調に、真剣に聞き入っていました。

内容は、わが国の食文化などを



「食育」の大切さを語る服部幸應先生

中心に進められ「日本は現在、食糧自給率が39%で食糧の多くを外国に依存しているにもかかわらず、偏った食生活で残飯で棄てられる量は世界一です」とこのような実態から食生活のあり方を真剣に見直すことが必要ですと指摘。一方、今日の食事情から「先ず健康に焦点をあて、日常の食べ物を選ぶ力を高めることが大切で、バランスの良いおいしい食事が体を元気にする」と具体的な食糧をあげながら食生活を披露していました。最後に、日本は2025年には、超高齢社会がやってくるので、健康寿命を延ばすためにも規則正しい生活を基本に、子供の時から「食育」の大切さをうたえていきました。

第6回

## ふるさと大賞

写真コンテスト  
2003

テーマ

21世紀の「ふるさと」の風景



第5回ふるさと大賞作品「境内」橋本洋子さん（福井市）

締め切り **12月12日(金)** 当日消印有効

主催：(財)げんでんふれあい福井財団  
 後援：福井県/福井県教育委員会/敦賀市/敦賀市教育委員会  
 (社)福井県文化協議会/福井県高等学校文化連盟/福井新聞社  
 福井放送/福井テレビ/嶺南ケーブルネットワーク  
 協賛：福井県カメラ商組合/富士写真フィルム(株)/ (株)福井フジカラー

**ふるさと大賞** 1点…30万円  
**ふるさと賞** 3点  
 学生5万円1点/一般10万円1点/女性10万円1点  
**優秀賞** 6点  
 学生3万円2点/一般5万円2点/女性5万円2点  
**入選** 35点(記念品)  
 学生5点/一般20点/女性10点  
**佳作** 35点(記念品)  
 学生5点/一般20点/女性10点

### 募集要項

- 部 門** 学生部門(高校生以上)  
 一般部門・一般女子部門の3部門
- 資 格** 1) 福井県に在住又は学校・勤務先が福井県内であること  
 2) 写真の専門家(プロカメラマン)ではないこと
- 作品の規定** カラー・モノクロで四つ切り又は四つ切りワイドの単写真  
 (学生は六つ切り可)
- 応募先** 1) 〒914-0051 福井県敦賀市本町2-9-16  
 (財)げんでんふれあい福井財団  
 2) 福井県カメラ商組合店及び県内フジカラー取扱店

### 財団イベント INFORMATION

若狭路博2003	イリュージョン マジックショー	センジー・一億& 安田悠二	9月23日(火)・24日(水)	小浜市川崎地区 メイン会場 交流ステージ	
げんでんふれあいコンサート		研ナオコ	9月28日(日)	福井市 フェニックスプラザ	入場料 2,000円
第7回福祉演芸会		林家染二(落語家) 林田麻友子(歌手)	10月28日(火)~30日(木)	県内6福祉施設	
狂言を楽しむ会		人間国宝 茂山千作師一門	11月13日(木)	敦賀市 プラザ萬象	昼 中学生 夜 一般

財団ホームページ アドレス <http://www.Genden.or.jp>

「げんでんふれあい福井」第16号  
2003年7月発行



(発行) 財団法人 げんでんふれあい福井財団

〒914-0051 福井県敦賀市本町2丁目9番地16号 (日本原子力発電(株)敦賀地区本部4階)  
 TEL.0770-21-0291 FAX.0770-21-9070